

●札幌市の省エネ・節電の取り組みについて

札幌市では、「札幌市エネルギービジョン」において、平成 22 年度の市内消費電力量のうち、原子力発電相当分を省エネの推進や再生可能エネルギーの導入拡大などにより転換し、「低炭素社会」と「脱原発依存社会」の実現を目指すこととしています。

こうした取り組みの一環として、省エネ・節電に継続的かつ発展的に取り組んでいくために、本日、今年度第 2 回の「札幌市省エネ・節電推進会議」を開催しました。

会議では、今冬の札幌市の市有施設の節電目標を、昨年冬の 7.8%を上回る 8.5%と定めて節電に取り組むことを決定したほか、これまでに引き続き、市民向けの省エネ・節電推進事業を展開していくことを確認したところです。

札幌の未来をつなぐ子どもたちのため、市民と行政が一体となって、省エネ・節電の推進による創エネに取り組み、札幌の新たなライフスタイルを創り出していきます。

1 今冬の市有施設における率先節電目標

(1) 最大需要電力の削減（ピークカット）

① 節電目標値

2010 年度比で 8.5%減（施設別の節電対策取り組み項目等は別紙参照）

② 数値目標の設定期間

平成 26 年 12 月 1 日（月）～平成 27 年 3 月 31 日（火）

（政府・北電による節電要請期間中）

(2) 消費電力量の削減

札幌市が目指す「持続可能なまち」の実現のためには、ピーク時の需要電力のみならず、消費電力量の削減も進めていく必要があることから、消費電力量についても前年度を上回る削減に努める（2013 年度冬の実績：2010 年度比 1.7%減）。

2 今冬の市民向けの主な省エネ・節電推進事業

(1) さっぽろ節電・省エネキャンペーン

キャンペーンに参加登録後、期間中、連続する 2 カ月間で節電・省エネを達成した市民に、抽選で 500 人に記念品（SAPICA2,000 円分）を贈呈。

① 参加登録期間

平成 26 年 12 月 1 日（月）～平成 27 年 2 月 27 日（金）

② 参加登録方法

市コールセンターに電話（222-4894、全日 8:00～21:00）または市ホームページ（<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/campaign/>）で登録。

③ 記念品応募期間

平成 27 年 2 月 1 日（日）～3 月 10 日（火）（必着）

④ 記念品応募方法

北海道電力株式会社が発行する「電気ご使用量のお知らせ」やガス会社、灯油販売店が発行する使用量のお知らせと前年度の使用量がわかるもの（いずれも写し可）を区役所などで配布している応募用紙に貼り付けて「さっぽろ節電・省エネキャンペーン受付係」（〒060-0806 日本郵便株式会社札幌駅パセオ郵便局留）に郵送。応募用紙は、市ホームページからもダウンロード可能。

<平成 26 年度夏（7 月～9 月）の実績>

参加登録者数：1,869 人

節電達成世帯の平均電力量削減率（前年比）：15.3%（632 世帯）

節電達成世帯の平均電力削減量：43kWh/月

(2) 家庭の消費電力量見える化機器の貸出

家庭内の消費電力量を画面に表示できる「見える化機器」をモニター世帯に無料で貸し出し、リアルタイムで確認しながら、効果的に節電に取り組んでもらう。

① 募集モニター世帯数

200 世帯（先着）

② 募集締め切り

12 月 25 日（木）（必着）

（貸出は平成 27 年 2 月 15 日（日）まで申込順に実施）

③ 貸出期間

約 1 カ月間

④ 申し込み方法

市コールセンターに電話（222-4894、全日 8：00～21：00）または E メール（info4894@city.sapporo.jp）で申し込み。市ホームページ（<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/mieruka/monitor2014.html>）からも申し込み可。

<平成 26 年度夏（7 月～9 月）の実績>

貸出世帯数：170 世帯

節電達成世帯の平均電力量削減率（前年比）：13.2%（52 世帯）

(3) 新エネ・省エネ機器導入の支援「札幌・エネルギーeco プロジェクト」

指定を受けた新エネルギー機器や省エネルギー機器、省エネルギーセンターに登録された「見える化機器」（省エネナビ）導入費用の一部を補助する。

① 募集締め切り

12 月 4 日（必着）

※予算枠に達していない場合は平成 27 年 1 月 13 日～1 月 30 日（必着）にも募集予定

② 申し込み方法

エコエネルギー普及推進課で配布している申込書に必要事項を記入し、返信用の通常はがきを同封の上、eco プロジェクト受付係（〒060-0003 札幌北三条郵便局留）に郵送。申込書は、市ホームページ（<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/ecopro/index.html>）からもダウンロード可能。

(4) 家庭の省エネ診断

家庭の省エネに詳しい環境省認定資格者の「うちエコ診断士」が家庭ごとのエネルギー使用状況を分析し、各家庭のライフスタイルや機器・設備に合わせて、省エネに関するアドバイスや提案を行う。

① 募集締め切り

12 月 25 日（木）

（診断は平成 27 年 2 月下旬まで順次実施）

② 申し込み方法：

家庭の省エネ診断実施事務局に電話（788-6868、平日 10：00～17：00）または環境計画課（市本庁舎 12 階）や、区役所などで配布している申込用紙をファクス（717-7730）。市ホームページ（<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/shindan/monitor2014.html>）からも申し込み可。

<平成 25 年度の実績>

提案項目実施に伴うエネルギー削減率：14.8%

(5) 家庭向け省エネ・節電総合相談窓口

家庭内の省エネ・節電を推進するため、ソフト面での省エネ・節電のほか、高効率機器や太陽光発電の設置など、総合的な相談に対応できる窓口を開設。

① 開設時間

毎週月・水曜および第 2・第 4 土曜の 13：00～17：00（祝日・休館日除く）

※12 月 27 日までは、毎週金・土曜の 13：00～17：00 も開設（祝日、休館日除く）

② 場所

環境プラザ（北区北 8 条西 3 丁目 札幌エルプラザ 2 階）

③ 受け付け方法

直接訪問のほか、電話（728-1667）または E メール（10@kankyo.sl-plaza.jp）でも可。

(6) 小中学生向け節電レポート（エコライフレポート）

子ども達が声掛け役となり、家庭における節電の取り組みを推進する。

① 対象

全市立小・中学校の児童・生徒

② 期間

冬休み期間中

<平成 26 年度夏の実績>

提出率：93.2%

削減電力量（推計）：約 370 万 kWh/月

(7) さっぽろの未来を“明るく”するためにプロジェクト 2014（節電プロジェクト）

節電の定着を目的に、市民に省エネや節電の必要性を分かりやすく効果的に呼び掛ける。

① 冬の節電キックオフイベント・街頭啓発

ア 日時：12 月 1 日（月）

午前の部 11：30～12：00 午後の部 17：30～18：00

イ 場所：JR タワー 1 階東コンコース

ウ 内容：節電を呼び掛けながら、節電啓発グッズ（カイロ、チラシなど）を配布。

② ポスターの掲出・チラシの配布

ア 日時：平成 26 年 12 月 1 日（月）～平成 27 年 3 月 31 日（火）

イ 場所：各区役所や老人福祉センターなどの市有施設、地下鉄車両内、北洋銀行などの民間施設

(8) ウォームシェアの取り組み（詳細は別紙）

地域に近く、市民が気軽に立ち寄れるまちづくりセンターや地区センター等約 70 カ所の市有施設をウォームシェアスポットとして開放するほか、イベント等を実施。

また、今年度は、環境省が行う「北海道から発信！ウォームビズ大作戦」と連携し、イオン北海道をはじめとする民間施設で啓発物の配布やポスターの掲示などウォームシェアの呼び掛けを行うほか、SNS（Facebook）を利用したウォームシェアスポットなどの周知を行う。

<平成 25 年度実績>

身近なウォームシェアスポット数：68 施設

ウォームシェアを目的としたイベント数：181 事業

問い合わせ先

（今冬の市有施設における率先節電目標について）

環境局環境都市推進部環境対策課（環境共生推進担当） 米森・小林
電話：211-2879

（今冬の市民向けの主な省エネ・節電推進事業について）

環境局環境都市推進部環境計画課（環境産業推進担当） 田縁・山本・野村
電話：211-2877

札幌市市有施設率先節電対策取組項目

平成26年度 冬の率先節電対策項目と目標					平成25年度 冬の目標		平成24年度 冬の目標		
項目	削減内容	平成22年 最大需要電力 (kW)	平成26年度 削減電力 (kW)		削減率 (%)	削減電力 (kW)	削減率 (%)	削減電力 (kW)	削減率 (%)
			486	986					
清掃 インフラ	工場内等の照明点灯時間短縮・LED化	5,311	486	986	18.6	986	18.6	1,768	33.3
	ごみ資源化工場の設備運転制御(一部施設稼働停止含)		500						
	白石清掃工場の灰溶融運転停止による売電		1,800						
下水道 インフラ	水再生プラザの散気装置・ブロワ等の省エネ化	20,424	605	1,491	7.3	1,484	7.3	1,480	7.2
	ブロワ、脱水機等の運転時間帯の調整		500						
	設備機器の運転時間の見直し等		386						
水道 インフラ	ポンプ運転の夜間シフト、ポンプ運転台数の見直し、一部施設ヒーティングの停止など	5,545	751		13.5	743	13.4	700	12.6
交通 インフラ	駅舎照明間引き、改札機・券売機一部停止、駅名標識灯の全消灯、車内照明の間引き、地下鉄車内暖房制御、電力貯蔵装置の導入など	28,620	2,411		8.4	2,276	8.0	2,251	7.9
ロードヒーティング	管理手法の見直しによる運転停止[累計39箇所(H23年度8箇所、H24年度18箇所、H25年度9箇所、H26年度4箇所)]	56,442	3,848		6.8	3,422	6.1	2,712	4.8
庁舎 (本庁舎、区役所、 消防局、下水道庁舎、 水道局、交通局、 菊水分庁舎)	本庁舎の照明の間引き・LED化、空調温度管理、エレベーター使用制限など	7,194	1,184		16.5	1,049	14.6	949	13.2
	区役所の照明の間引き・LED化、空調温度管理など								
	その他庁舎の照明の間引き・LED化、空調温度管理など								
市民利用施設 (円山動物園、コンベンション センター、キタラ等)	照明の間引き・LED化、空調温度管理、施設ヒーティングの運用見直しなど	37,885	3,785		10.0	3,170	8.4	3,336	8.8
病院	照明の間引き・LED化など	2,202	-		-	-	-	-	-
学校	廊下等照明の間引き、消灯の徹底など	64,815	3,048		4.7	2,787	4.3	1,620	2.5
合計		228,438	19,304		8.5	17,717	7.8	16,616	7.3

※ 最大需要電力を把握できる高圧受電施設を対象としている。

【節電要請内容】

数値目標 なし
要請期間 平成26年12月1日(月)～3月31日(火) 平日8時～21時
※12月29日(月)から1月2日(金)までを除く。

過去の最大需要電力及び消費電力量の削減率の実績(平成22年度12～2月との比較)

	平成25年度(12～2月)		平成24年度(12～2月)	
	最大需要電力	消費電力量	最大需要電力	消費電力量
12月	10.4%	5.5%	7.7%	▲10.4%
1月	9.3%	3.5%	9.0%	▲1.7%
2月	8.8%	▲3.6%	8.8%	▲3.6%
3か月間	(平均) 9.5%	(合計) 1.7%	(平均) 8.5%	(合計) ▲4.9%

平成 26 年度 ウォームシェアの取組例（各局の取組）

局		主な取組内容
1	総務局	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌留学生交流センター1階交流ラウンジをウォームシェアスポットとし、市民が気軽に過ごせる場所を開放
2	市民まちづくり局	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌エルプラザ公共4施設情報センターをウォームシェアスポットとして提供
3	財政局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が各市税事務所及び本庁舎に多く訪れる時期に、本庁舎内において「税のあったか相談会」を開催
4	保健福祉局	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター全10館や保養センター駒岡で定期的で開催する自由参加講座については、ウォームシェアの取組事業であることをPR ・老人福祉センター全10館や保養センター駒岡で、コンサートや映画鑑賞などさまざまなイベントを開催 ・各区保健センターで、体が温まる料理の紹介や、試食の提供などを行う、「あったか料理で交流会」を開催
5	環境局	<ul style="list-style-type: none"> ・円山動物園（動物園センター、動物科学館ホール、第一レストハウスをウォームシェアスポットとして開放 ・動物園の開園時間の延長、SAPPRO CITY JAZZ の演奏会等を実施するクリスマス・スペシャルナイトや、「ちびっこ餅つき・お汁粉配布」を開催 ・ウォームシェアの取組の一環として、市民が集い、廃棄ごみ減量のポイントや減量による省資源などをテーマとした「クリーンミーティング」を開催
6	子ども未来局	<ul style="list-style-type: none"> ・ポプラ若者活動センターや豊平若者活動センターのロビーを開放 ・ポプラ若者活動センターで、飲み物や軽食等を提供し、「しゃべり場」やイベントを開催する「ほっと・コミュニティカフェ」を開催 ・豊平若者活動センターで、ロビーライブ&カフェや、さまざまなテーマを話し合う「とよひらほっとコミュ。」を開催 ・サッポロファクトリーで、児童会館で活動している子どもたちによるステージ発表を中心としたイベント「げんキッズフェス」を開催
7	観光文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィンターミュージアム3F多目的ホール、教育文化会館、芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館（本館）、さっぽろ天神山アートスタジオをウォームシェアスポットとして開放 ・コンベンションセンターにおいて、「SORAこそだてフェスティバル」、「白石おもしろいし！ニュースポーツ&すこやかフェスタ」、「SORA懐かしのシネマ上映会」を開催 ・札幌国際ユースホステルロビーで「歌声サロン・ユース」を開催 ・教育文化会館でアイスクャンドル作りなど「教文☆ナビ」を開催 ・芸術の森等で、雑煮や汁粉の提供、ペレットストーブ前での読み聞かせ等を行う「ゆきあかりの祭典」を開催
8	消防局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民防災センター2階の消防車両見学スペースを開放
9	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年科学館1階、定山溪自然の村ふれあいハウス内ふれあいルーム、北方自然教育園並びに10か所の図書館をウォームシェアスポットとして提供

平成 26 年度 ウォームシェアの取組例（各区の取組）

※区庁舎や区民センターのロビー等の活用については記載を省略。（ただし、特徴的な取組は掲載）

区		主な取組内容	
1	中央区	常設	・まちづくりセンター（大通公園、宮の森）のロビーにテーブルや椅子を置いて開放
		イベント	・ウォームシェア・節電を呼びかけるポスターを掲示するパネル展を開催（区役所） ・参加者に豚汁等を提供する苗穂雪中運動会を開催（苗穂会館） ・年忘れ映画鑑賞会（山鼻会館）、新春子どもお楽しみ大会（西地区会館）を開催 ・町連新聞まちセンコーナーでウォームシェアを紹介（円山まちづくりセンター・円山会館） ・山鼻小親子雪のつどいを開催（曙まちづくりセンター）
2	北区	常設	・ひざ掛け等を用意するホットロビー、書架のあるロビーライブラリーを設置（篠路コミュニティセンター） ・プラザ新琴似（新琴似地区会館）のロビーを開放 ・地区センター（新琴似・新川、太平百合が原、屯田（土曜）、拓北・あいの里）に場所を確保し開放
		イベント	・コミセン叙情歌サロン、クリスマスロビーコンサート、百人一首交流会を開催（篠路コミュニティセンター） ・上映後茶話会を設ける新琴似シネマ倶楽部を開催（プラザ新琴似） ・輪投げやカーリンコンで遊ぶ「親子で遊ぼう」を開催（屯田地区センター） ・新春百人一首大会、輪投げ大会の開催（拓北・あいの里地区センター） ・新・新ほんわかコンサートの開催（新琴似・新川地区センター）
3	東区	常設	・地区センター（苗穂・本町、ふしこ）内に場所を確保し開放
		イベント	・「2015 東区ウォームシェア」として、映画会や歌声サロン等のイベントを 20 回以上開催（地区会館又は市民集会施設） ・「ことばで介護」講演会を開催（区民センター） ・HUG 研修、元町ふれあい祭り冬のふれあい広場を開催（元町会館） ・（仮）環境・衛生講座「カラスについて知ろう」、防犯講座を開催（丘珠ふれあいセンター） ・親子お楽しみ映画会を開催（苗穂・本町地区センター） ・「お手軽体力診断」、「行政相談座談会」を開催（ふしこ地区センター）
4	白石区	常設	・ロビーにしろいし文庫を設置し開放（区役所） ・全地区センター（北白石、白石東、菊水元町）のロビーを開放 ・まちづくりセンター（白石）の情報交流スペースを開放
		イベント	・「クリスマスツリー&壁飾り教室」、「手打ちそば講座」、「こども囲碁教室」、「新春女性マーじゃん大会」、「初心者ボーリング大会」を開催（区民センター） ・パソコン講座（確定申告編）を開催（白石東地区センター） ・「ニュースポーツ&すこやかフェスタ」を開催（札幌コンベンションセンター） ・「ノルディックウォーキング体験会」を開催（イーアス札幌及び東札幌地区周辺） ・「菊の里サロン・ギター演奏とワインの夕べ」を開催（菊水元町地区センター）
5	厚別区	常設	・情報提供スペースに書籍を配架し開放（区役所） ・地区センター（厚別南）のロビーを開放 ・まちづくりセンター（厚別中央）の交流スペースを開放
		イベント	・副都心開発公社と連携し、ウォームシェア実践者を優待するなど、新さっぽろ地区キャンペーン事業を実施（副都心公社関連商業施設） ・新さっぽろ冬まつり来場者に啓発物を配布（市民交流広場） ・パンフレット作成、パネル展などのウォームシェア啓発事業を実施（区役所等）

区		主な取組内容	
6	豊平区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター（豊平、美園、平岸、中の島、西岡）の情報交流スペース等を開放（特に平岸では、血圧計など健康器具や絵本を設置） ・ひざ掛けを用意してロビーを開放（豊平会館）
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした「ふまねっと運動体験会」を実施（平岸会館） ・（仮称）西岡雪まつりを開催（西岡ふれあい広場） ・「第9回とよひらおもしろスノーパーク」を開催（北海道立総合体育センター） ・「あったかイイ本の読み聞かせの会」を実施（地域交流サロンぴらけし） ・「とよひら“あったか”コンサート」を開催（豊平児童会館）
7	清田区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター（北野、清田中央、平岡）のロビーや情報コーナーを開放 ・フリースペースやラウンジを開放（里塚・美しが丘地区センター）
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・「あったか体力測定」を開催（健康増進フロア） ・ホットドリンク等を提供する「宿泊型避難所体験」を開催（里塚・美しが丘地区センター）
8	南区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センター（藤野、もいわ、すみかわ）のロビーを開放 ・全まちづくりセンターのロビー等を開放
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生とその保護者を対象とした「親子で楽しむ ほっこりプラネタリウム」を開催（区民センター） ・民間の演奏者を招いてジャズコンサートを開催（区民センター） ・東海大学と藻岩中学校の吹奏楽部による「もいわ冬のスマイルコンサート」、「キンボール」を利用した交流事業「児童会館子ども運営委員会企画」、東海大学の学生によるゲームや餅つきを行う「もいわいきいきフェスタ」などを開催（もいわ地区センター） ・ハンドベルコンサート、地域まちづくり講座などを開催（すみかわ地区センター）
9	西区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ周辺に読書コーナ等を設置して開放（区役所） ・地区センター（西野）のロビーを開放 ・まちづくりセンター（琴似二十四軒、八軒、発寒、西町、八軒中央、西野）内に場所を確保し開放 ・子育て情報を閲覧し、交流できる場所を開放（保健センター内子育て情報ステーション/さんかくやまベエのへや）
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かい飲み物の提供とカラオケ等のゲームを行う「福まちの集い」を実施（八軒中央会館） ・北海道大学学生による「北海道大学第1回若人による演奏会」、アマチュアオーケストラによる「西区ファミリーコンサート」を実施（区民センター） ・ボランティアの読み聞かせや遊具づくりを楽しむ「子育て情報ステーション/さんかくやまベエのへや1歳の誕生会」を開催（保健センター） ・子どもや家族連れを対象としたイベント「西区ウォームシェア in ちえりあ」を開催（生涯学習センター）
10	手稲区	常設	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センター（新発寒、星置）ロビーや会議室で場所を確保し開放 ・ロビー内にペレットストーブを設置し開放（手稲コミュニティセンター）
		イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会主催の「ぐんていぬペタンク大会」（星置地区センター）、「冬のでつほくあそびねっと」（場所未定）、「開拓の歴史を振り返る講演会」（手稲北小学校）を開催 ・ウォームシェア推進ロゴマーク「ほこっとていね」キャラクター缶バッチを着用してウォームシェアを啓発（区役所） ・防災関連出前講座「安心・安全まちづくり研修会」を開催（稲積記念会館） ・富丘連合会町内会女性部が新一年生への交通安全を願ってプレゼントする「ていぬくん」人形づくりを開催（富丘西宮の沢まちづくりセンター） ・ヘルシーあったかメニューの作成と提供（区役所食堂）